

電源コード及び配線器具による事故

事故の概要

【事例①】火災が発生し、1人が死亡した。

【事例②】コードリール付近から出火して住宅を全焼し、1人が死亡、3人が重軽傷を負った。

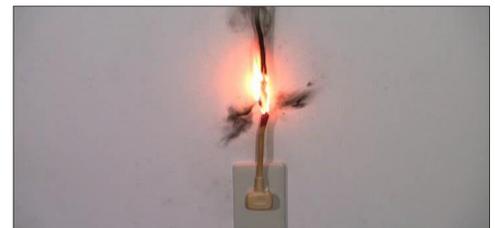
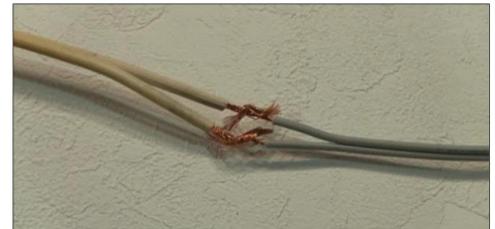
事故の原因

【事例①】

温水ルームヒーター室外機の電源コードをねじり接続して使用していたため、接続部で接触不良をおこし、異常発熱したものです。

【事例②】

コードリールからコードを全て引き出さない状態で、定格を超える電気製品を接続して使用していたため、コードが異常発熱したものです。



【再現実験】 エアコンの電源コードをねじり接続した部分から発火する様子



事故防止のために

電源コードをねじり接続して他のコードと途中接続する、断線部をテープで補修する等、改造・加工・修理を行わないでください。

コードリールは、「コードを巻いた状態」と「コードを引き出した状態」で使用できる消費電力が異なります。電気製品を接続する際は、各製品の消費電力を確認し、合計値が超えないよう注意してください。

次の症状がある場合は、直ちに使用を中止してください。

- 電気製品の使用中、ブレーカーが頻繁に落ちる
- 電気製品から異音や異臭がする
- 電源コードを動かすと電気製品の電源が切れたり入ったりする
- 電源コードの電源プラグが部分的に熱くなる
- 電源コードの一部に破れ、傷、コブなどがある

